

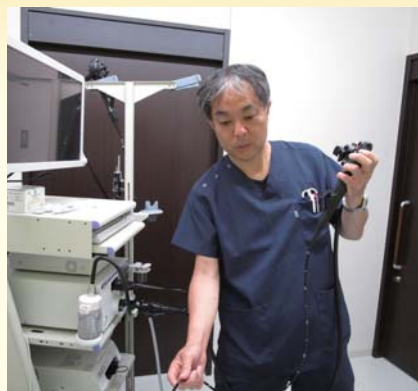
マルホンの

HOTでスマイル

よりよいHOTライフのための広報誌

－第32号－

県内初の入院設備 完備のクリニック を開業して



うしいけホームクリニック
院長 中村和巳 先生

平成29年4月より、群馬県初となる在宅療養支援診療所として、訪問看護・介護及びサービス付き高齢者向け住宅を兼ね備えた複合型施設をオープンいたしました。

「医療」「介護」「介護予防・生活支援」「住まい」の建物の1階部分が入院設備19床を併設したクリニックとなっております。院長の私、中村が中心となって内科、消化器内科を専門として着任致しました。クリニックでは、副院長の小中医師（女医）と連携し1診、2診の体制で外来を行っております。

月曜日から土曜日の9時～12時・16時～19時が診療時間となっております。祝日及び日曜日は

休診とさせて頂きますが、オンライン体制となっておりますので、救急時急変時の対応も行えます。

私は内科学会認定医で消化器学会専門医であり、PEG・在宅医療研究会のメンバーであり、認定胃瘻増設者であり、胃瘻の教育にも携わり胃瘻交換等を実施しています。

消化器内科としては、内視鏡で経鼻（口腔）内視鏡（胃カメラ）・大腸ファイバーを専門とし、消化器疾患を中心に診療を行い、ポリプ切除等も行えるクリニックとなっております。

胃カメラは、当日予約無しでも検査可能ですので是非お問合せ下さい。

救急外来や入院患者の対応も考え、「腹部エコー」・「心電図」・「脈は」・「その他迅速に血液検査の結果が出せる血液検査機器」を導入し、24時間365日迅速な検査ができます。

外来の神経内科では非常勤医師が毎月2回診察を行っており、「もの忘れ外来等」を行っています。

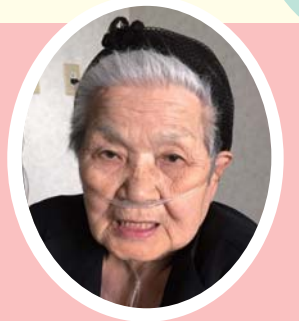
また、地域健康診断、一般健康診断、企業健康診断も実施しており、さらには訪問医として、サ高住や地域に訪問診療を積極的にを行っています。

地域包括ケアシステムの構築が国全体で提唱される中で、具

体的に、在宅推進医療が挙げられている中、在宅医療を担う訪問診療医は、主治医として24時間在宅患者を支えております。そのような中、在宅患者の状況や環境に合わせて、また、主治医の都合に合わせて気軽に入院できる垣根の低い在宅後方支援ベッド（レスパイト）として地域に備え、高齢者の急性期治療から在宅までの橋渡しとしてのベッドとして、在宅医療推進を目的とし県内初特例診療所として診療しております。全てが一般病床の位置づけとなっております。



4月に開業された「うしいけホームクリニック様」
前橋市元総社町 1770-4 番地 TEL.027-289-0841
<http://ken-ei-kai.jp/>



白崎 チエさん (HOT 歴 2 年)



後列右端がチエさん

本庄宿は江戸時代には中山道で最大の人口を擁する宿場町でした。明治以降は生糸や絹織物の産地でもあり、大変な賑わいでした。今回はそんな本庄でかつて芸者をされていたという白崎チエさんにお話を伺いました。

白崎さんは東北、弘前のご出身で、若い頃から芸者さんに憧れていたそうです。東京に芸者の友人がいて、そこを頼って東京で初舞台を踏んだのですが、当時栄えていた本庄を紹介されて埼玉まで下って来られたそうです。今の本庄はすっかり変わってしまった、本庄銀座のあたりが、かろうじて往

時の繁栄ぶりを偲ぶことができるノスタルジックな空間になっています。

芸者のお仕事はお客様にお酌をしたり、三味線を弾いたり日本舞踊を踊って見せたりすることでした。酔客相手だったこともあって、タバコは若い時分から吸っていて、現役時代は一日30本、辞めてからは、さらに増えて一日40本程吸っていたそうで、それが原因でCOPDになってしまったとのことでした。息切れについてご自身ではそれほど気にならなかったのですが、周りから見るととても苦しそうだつたようで、近所のスーパーに行くとおばあちゃん大丈夫？とよく声をかけられたとのことでした。

その後、堀川病院様に入院した際に在宅酸素を勧められてHOTを始めました。酸素を使うようになって、とても呼吸が楽になった。酸素ってこんなに効くんだと思ったそうです。日頃気をつけていることは朝晩うがいをするのと。うがいをすると呼吸が楽にできる気がするとのことでした。



日本舞踊のお稽古中

今は施設に入所してしまつたのでできませんが、料理をするのが好きでした。「ガスを使うときは酸素をしままするんじゃないよ」と先生に言われてそのとおりにしていました。またトイレや洗濯など少しの間だつたら酸素を外してしまうことがあります。少しくらい外しても平気、とのこと(編注…本当はそういうときこそ酸素が必要なのです)。

今まで住んでいたアパートが取り壊されるといふことで、先月から施設に引越しされ、ようやく落ち着いてきたところです。

ご自身を「姥捨て山で待っている芸者」と表され、気持ちはまだまだお元気な白崎様、また点検でお伺いしたときは昔のお話を聞かせてください。ありがとうございました。

担当者が

探した地域情報

北毛エリア担当
清水 学

榛東村ぶどう郷

私の生まれ育った榛東村には、たくさんブドウの直売所があります。「榛東村ぶどう郷」は、伊香保温泉から国道一五三号線を榛東村方面へ車で走ること約15分のところにあり、道路の両脇に約30軒の観光ぶどう園が並んでいます。昭和36年頃から栽培が始まり、今では北関東最大、20万平方メートルの栽培面積があります。



毎年収穫シーズンになると、直売所にはブドウ狩りや直売を楽しむ多くの観光客、家族連れのお客さん達で賑わっています。農薬の低減にも努め、安心・安全・新鮮

なブドウを生産しています。

種類はデラウェアや巨峰など有名な品種の他、シャインマスカットや安芸クイーン、ジャスミンなど



といった、豊富な種類のブドウが彩りよく店頭に並んでいます。これからがシーズンですので、お近くまで来た際は是非寄ってみてください。品種にもありますが、8月上旬から10月中旬頃まで味わうことができます。

近くには、私も子どもの頃よく遊んだ「ふるさと公園」や、露天風呂のある「ふれあい温泉しんとう館」、「しんとうワイナリー」もあります。お時間があるようでしたら是非そちらもどうぞ。



「HOTのあゆみ」

在宅酸素療法（HOT）は、健康保険が使えるようになって33年が経ちました。以来今日に至るまで医学の進歩や、酸素療法に関する技術の進化があり、また患者さんを取り巻く環境も大きく変化してきました。

酸素濃縮器は当初、小型の冷蔵庫のような大きさと重く、酸素濃度は40%までしか出ませんでした。今では90%以上の高濃度になり、小型・省電力・低騒音といった基本機能の向上に加え、音声案内やリモコン、ユニバーサルデザインなど患者さんにやさしい機能が搭載されているほか、メーカーによってはバッテリーや無線通信などさまざまな付加機能が追加され、患者さんがより快適に、安心してご使用いただけるようになっていきます。

近年は携帯型酸素濃縮装置も市場に出てきています。ただ、実用にはもう少し時間がかかると

HOTの安全情報

思われますが、早晚実現することでしょう。

マルホンでは、社員から「機器を届けているだけじゃない、思いやりも届けているんだ!」といったようなスローガンを募り、社内に掲示して、社員一丸となって「質の良いサービス・まごころ・安心」をお届けするよう努めています。最後に、在宅医療の進歩は、我々業者の進歩の歴史とも思っています。

酸素濃縮器の今昔

7月発売の5L器（医器研）
バッテリーなどさまざまな
機能が追加されています



今年レンタル開始の
携帯型濃縮器（フィップス）
同調のみ



国産初の濃縮器（35年前・帝人）
膜式で濃度40%が限界でした

コレ

肺の病気と上手につきあいましよう

監修：松井弘稔先生
(国立病院機構 東京病院 呼吸器内科)

◆栄養をしつかりとろう

肺に病気があると、咳や呼吸の回数が増えたり、肺を広げるのに強い力が必要だったりするため、自然とエネルギー消費が増えます。しかし、息苦しさや疲労感から、通常の食事では思うように栄養が取れず、痩せてしまう方が多くなりがちです。そこに運動不足が重なると、骨粗鬆症や筋肉量の減少、抵抗力や脳機能の低下なども併せて起きやすくなります。少量でも高カロリーな食事や間食をうまく取り入れて、適正体重の維持を目指しましょう。



暑いと食欲も低下しがちです。意識して栄養摂取をしましょう。

「大陽日酸(株)カレンダー」より許可を得て転載しています

HOT

社員紹介

こばやし りょう
小林 瞭



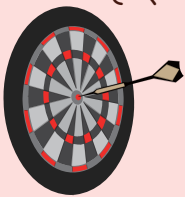
6月の社員旅行で南禅寺にて

血液型：O型
好きな食べ物：魚料理
嫌いな食べ物：なし
欲しいもの：新しいダーツセット

小林瞭と申します。長野県の御代田町出身で、7年前に前橋市に引っ越してきて、現在は吉岡町に住んでいます。

昨年の10月に入社し、北毛エリアの配送業務を担当させていただいております。配送でご自宅にお伺いさせていただいた際に、世間話を交換作業中にしたり、「運転気を付けてね」などの言葉を掛けていただいた時に、皆様から元気をいただいております。

休日は、趣味のダーツをしています。インターネットカフェに一人で行ってダーツをする事がほとんどですが、インターネット対戦で遠く離れた県の人や海外の人と対戦することができ、共通の趣味を通じて仲良くなれる事がとても楽しいです。これからもよろしくお願いたします。



編集後記

バイクの税金が高くなったので廃車手続きに行かなければ。(ささき)

目覚ましょ なぜ遅いのか いつ鳴るの？ あ～ また歳をとったのか…。(すなが)

ブドウ狩りの写真は私の息子です。今年もよく実家のブドウ園のお手伝いをしてくださいました。彼の仕事は場を和ませることです。(しみず)

最近マラソンを始めました。三日坊主にならないようにしたいです。(おかだ)

「いらっしやい」
孫を迎えて 去る諭吉

目には蚊を
耳には蟬を 飼っている

中身より
字の大きさを 選ぶ本

クラス会
食後は薬の 説明会

孫帰り
妻とひっそり 茶漬け食う

『シルバー川柳』全国有料老人ホーム協会 ボプラ社編集部より抜粋

シルバー川柳

――バックナンバーございます。ご希望の方は担当者までお申し付けください。――

第32号

株式会社マルホン 「HOTでスマイル」 編集委員会 発行責任者 鈴木 武
平成29年8月1日発行 前橋市問屋町 2-16-11 TEL 027-210-7222